E500、E501S、E502S 用事前設定ファイルのサンプル

E500 シリーズ製品(E500、E501S、E502S)を用いて無線 LAN システムを構成する場合、構成するシステムによって、各機器の設定が異なります。

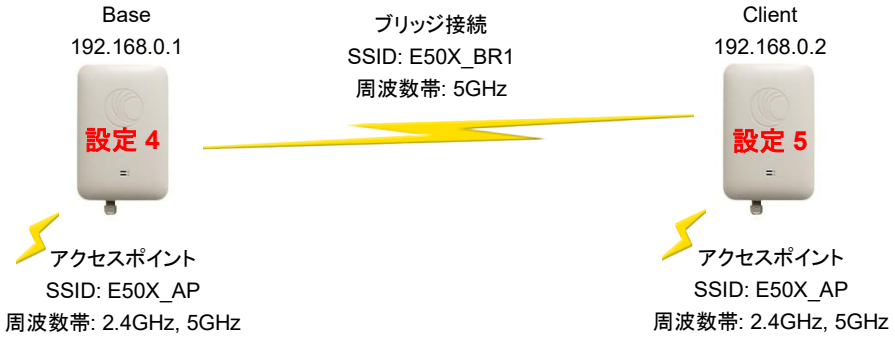
ここでは、5 つのサンプル事前設定ファイルのシステム構成例を示します。

1. システム 1 (アクセスポイント)

2. システム 2 (ブリッジ接続)

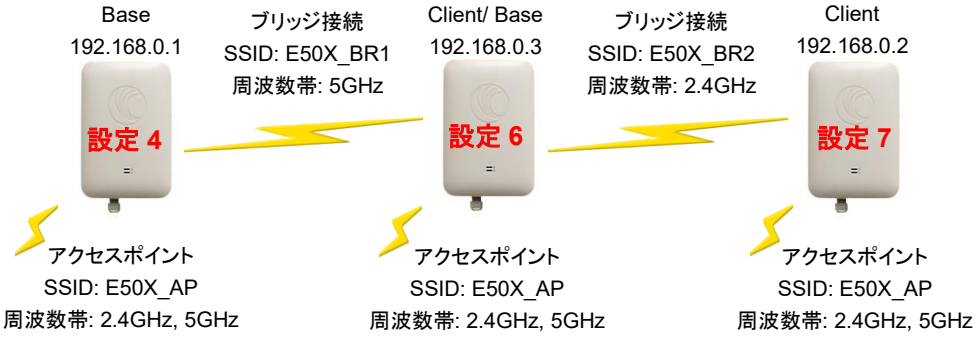
設定 2 の機器はブリッジ接続の親機になり、設定 3 の機器はブリッジ接続の子機になります。

3.　システム 3 (ブリッジ接続、各機器アクセスポイント付き)



設定 4 の機器はブリッジ接続の親機になると共にアクセスポイントにもなります。設定 5 の機器はブリッジ接続の子機になると共にアクセスポイントにもなります。

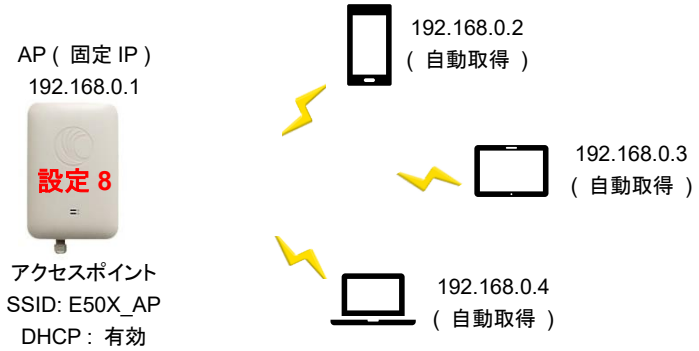
4.　システム 4 (中継付きブリッジ接続、各機器アクセスポイント付き)



設定 4 の機器はブリッジ接続で設定 6 の機器の親機になります。設定 6 の機器はブリッジ接続で設定 4 の機器の子機になると共に設定 7 の機器の親機にもなります。設定 7 の機器はブリッジ接続で設定 6 の機器の子機になります。

また、設定 4、設定 6、設定 7 の各機器はそれぞれアクセスポイントにもなります。

5. システム 5 (DHCP サーバ機能を有するアクセスポイント)



設定 8 は、設定1のアクセスポイントに DHCP サーバ機能を付加します。アクセスポイント配下の無線 LAN 接続された端末は IP アドレスを DHCP による自動取得の設定にしておくことで、自動的に IP アドレスが割り当てられます。アクセスポイントは固定 IP アドレスに設定しています。

各事前設定ファイルの設定内容一覧

#	構成	IP アドレス	SSID	周波数帯
設定 1	AP	192.168.0.1	E50X_AP	2.4GHz, 5GHz
設定 2	Base	192.168.0.1	E50X_BR1	5GHz
設定 3	Client	192.168.0.2	E50X_BR1	5GHz
設定 4	Base + AP	192.168.0.1	E50X_BR1 E50X_AP	Base: 5GHz AP: 2.4GHz, 5GHz
設定 5	Client + AP	192.168.0.2	E50X_BR1 E50X_AP	Client: 5GHz AP: 2.4GHz, 5GHz
設定 6	Client + Base + AP	192.168.0.3	E50X_BR1 E50X_BR2 E50X_AP	Client: 5GHz Base: 2.4GHz AP: 2.4GHz, 5GHz
設定 7	Client + AP	192.168.0.2	E50X_BR2 E50X_AP	Client: 2.4GHz AP: 2.4GHz, 5GHz
設定 8	AP (DHCP)	192.168.0.1	E50X_AP	2.4GHz, 5GHz

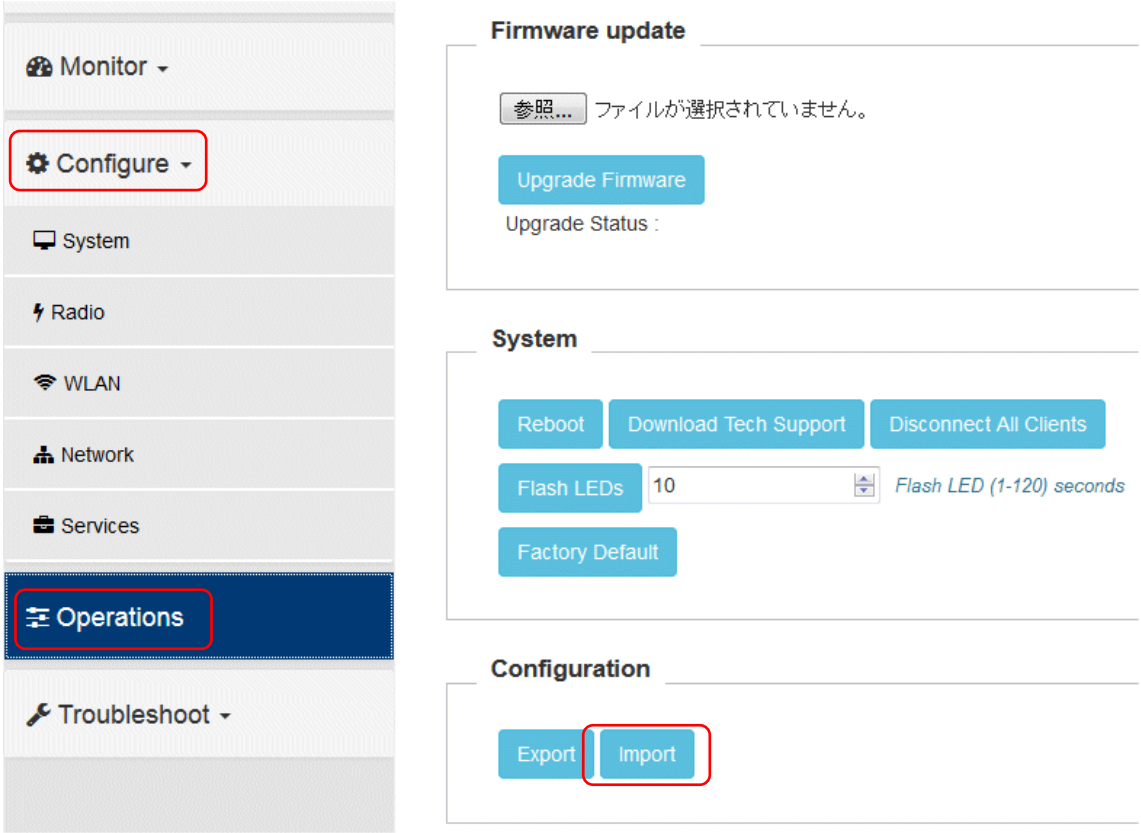
各周波数帯で、チャンネルは自動選択になっています。

各事前設定ファイルのファイル名一覧

#	ファイル名 (E500 用)	ファイル名 (E501S 用)	ファイル名 (E502S 用)
設定 1	Config_E500_AP.txt	Config_E501S_AP.txt	Config_E502S_AP.txt
設定 2	Config_E500_Base.txt	Config_E501S_Base.txt	Config_E502S_Base.txt
設定 3	Config_E500_Client.txt	Config_E501S_Client.txt	Config_E502S_Client.txt
設定 4	Config_E500_Base_AP.txt	Config_E501S_Base_AP.txt	Config_E502S_Base_AP.txt
設定 5	Config_E500_Client_AP.txt	Config_E501S_Client_AP.txt	Config_E502S_Client_AP.txt
設定 6	Config_E500_Client_Base_AP.txt	Config_E501S_Client_Base_AP.txt	Config_E502S_Client_Base_AP.txt
設定 7	Config_E500_Client2_AP.txt	Config_E501S_Client2_AP.txt	Config_E502S_Client2_AP.txt
設定 8	Config_E500_AP_DHCP.txt	Config_E501S_AP_DHCP.txt	Config_E502S_AP_DHCP.txt

事前設定ファイルの読み込み方

ブラウザーで E500 シリーズ機器の GUI 画面に入ります。画面左側のタブから Configuration タブを選択し、さらに Configuration タブの中の Operations のタブを選択します。



Configuration ボックスの中にある Import ボタンをクリックすると、ファイルを選択する画面が現れるので、目的の事前設定ファイルを選択します。その後、画面右上にある Reboot ボタンをクリックし再起動をかけることで設定が反映されます。

IP アドレスや SSID、周波数帯等を変更する場合は、Configure タブの中の WLAN タブまたは Network タブの中にある設定項目の中から必要な項目を変更し、Save ボタンをクリックします。